

《6号商品案内》



組合員さんから出された声

46号スマイルの「BBアクアパクトケースセット」は詰め替用とケースのお得なセットですが、今後はレフィル(詰替用)だけの企画もありますか？

46号スマイルで登場した「BBアクアパクトケースセット」のレフィル(詰替用)が6号から登場

6号から扱い実現

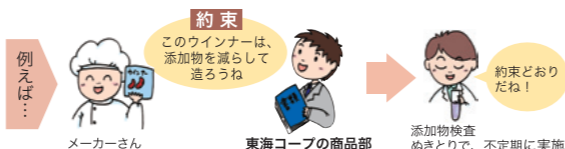
組合員さんの声で、商品案内は改善されています。ぜひ皆さんのお声をお寄せください。 コープベル ☎0120-706-887

Report 商品安全検査センター

東海コープ商品安全検査センターとは…

東海3県の3生協で「東海コープ」を作り、商品を共同仕入しています。東海コープは、メーカーさんと農家さんと、書類で約束を交わします。その約束が守られているか点検するのが、商品安全検査センターの役割です。

東海コープ商品安全検査センター



2012年の年間検査結果より (その1: 理化学検査)

商品安全検査センターでは、微生物検査の他に、残留農薬検査、食品添加物検査、動物用医薬品検査などの理化学検査を実施しています。今回は2012年度の理化学検査まとめをお知らせします。なお、このまとめは2011年12月21日～2012年12月20日までのデータを基にしています。

1. 検査数の概要

理化学検査	2012年度検査件数
残留農薬検査	552
食品添加物検査	361
放射性物質検査	862
動物用医薬品検査	65
重金属類検査	104
卵の鮮度等検査	356
ヒスタミン検査	160

2012年度の特徴は食品添加物や重金属類を中心に、店舗取扱い商品の検査強化を進めてきたため、検査数が増えています。また、共同購入の卵の鮮度等検査は昨年までの年4回から、品質変化のリスクが高い夏季1回の検査に変更をし、検査件数が減っています。全体を通じ、大きな問題はありませんでした。

2. 残留農薬検査について

2012年度は前年と同等である552件の残留農薬検査を実施しました。生鮮品が主ですが、加工品の検査も72件行っており、結果は以下のとおりです。

検査件数	適合	不適合	要注意	参考データ	適合率
552	538	2	2	10	99.3%

(*適合率は参考データを除いた検査件数に対する適合件数の割合)

「不適合」は、冷凍モロヘイヤと、ティーバッグの烏龍茶で、これらは残留基準のない食品からの微量検出ですが、データを取引先へ情報提供し、先方で検査等が行われ、結果として自主回収されました。

また残留基準の半分を超え「要注意」とした事例はキウイと、加工品であるキムチですが、加工品は複数の原料を使っていることも多くあるため、原料にさかのぼった情報を調べ、対応しました。

また、日本生協連と協力し、食事摂取量調査のための検査を行っています。2011年冬に続き、2012年夏と冬に実施し徐々に放射性物質が減少していく状況を確認しています。こちらはまた別の機会にご報告します。

3. 残留放射性物質検査について

検査センターでは放射性物質の測定に「ゲルマニウム半導体スペクトロメーター」を使用しています。これは公的な機関でも使用されている、最も精度良く測定できる機器です。2011年9月から、商品及び原料の残留放射性物質検査を続けており、検査件数は2012年度736件実施しましたが、結果はすべて適合でした。検査結果は東海コープのホームページで公開していますので、ご覧ください。

めがね



生協のカードを持っていると眼鏡を安く購入できると聞きました。利用方法について教えてください。



「コープぎふ」の組合員であれば、どなたでも「眼鏡市場」の商品を店頭表示価格より5%割引にてご購入いただけます。

ご利用方法

- ①生協カード(組合員証)をお持ちいただき、お近くの「眼鏡市場」店舗に直接ご来店ください。
- ②商品購入の際、組合員証をご提示ください。
- ③商品代金は直接店舗での精算になります。(クレジットカードもご利用いただけます)。「アルク」、「コンタクトレンズのレンズスタイル」でもご利用いただけます。
※コンタクトレンズも5%割引になります。
※補聴器は割引対象外となります。
※他の割引券との併用はできません。

岐阜県下にある眼鏡市場の店舗は、生協よりご案内しております眼鏡市場のチラシもしくはホームページからもご覧いただけます。(県下14店舗)

眼鏡市場 検索



のぼりが目印

<http://www.meganeichiba.jp>

お問合せ

東海コープ事業連合 生活サービス事業部
☎0120-282-220
＜月曜～金曜 9:30～17:00＞
東海3生協サービス事業の部門統合により、お問合せ先が変わりました。

化粧品



ファンデーションや日焼け止め商品等で「SPF」と「PA」という表示がありますが、どんな意味があるのでしょうか？



日焼け止め化粧品に表示されている「SPF」「PA」は、どちらも紫外線に対する防止効果の高さを表します。

紫外線(UV)には、「UV-A波」「UV-B波」「UV-C波」という種類に分類されています。地上に届いて肌への影響を及ぼすのは「UV-A波」「UV-B波」の2つです。

UV-B波をカットするものに「SPF」、UV-A波をカットするものには「PA」という指標で商品パッケージに防止効果が記されています。

SPF 肌表面を焼く紫外線(UV-B波)の防止効果を表す指標です。1～50までの数値で表示され、数値が高いほど紫外線防止効果が高くなります。SPF1で約20分防止効果があるとされています。

PA 肌内部に影響を及ぼす紫外線(UV-A波)の防止効果を表す指標です。「PA+」といったように表示され三段階に分けられています。

「+」の数が多いほど紫外線防止効果が高くなります。

- 「PA+」は効果がある
- 「PA++」はかなり効果がある
- 「PA+++」は非常に効果がある

＜目安＞

散歩や買い物(日常)……………「SPF20」「PA++」
屋外で活動するのであれば…「SPF30」「PA+++」
炎天下でのレジャー・マリンスポーツなどは……
「SPF50」「PA+++」

日焼け止めは皮脂や汗、手や衣服が触れることによって落ちてしまいます。2-3時間おきにこまめに塗り直していただくことが大切です。SPF値が高いほど紫外線防止効果は高まりますが、その分お肌への負担も大きくなると考えられます。用途に合わせて日焼け止めをお選びください。